

予防接種法に基づき、日本脳炎の個別予防接種を行います。次の注意書きなどをよく読み、必要性や副反応を理解してから接種を受けるようにしましょう。わからないことは、接種を受ける前に医師に質問しましょう。

1 日本脳炎の症状について

日本脳炎とは、日本脳炎ウイルスの感染によっておこる中枢神経(脳や脊髄など)の疾患です。ヒトから直接ではなくブタの体内で増えたウイルスが蚊によって媒介され感染します。東アジア・南アジアに広く分布する病気です。症状が現れずに経過する(不顕性感染)場合がほとんどですが(感染者 100～1000 人に 1 人が発病すると報告されています)、症状が出る場合には、7～10 日間の潜伏期間の後に、数日間の高熱、頭痛、嘔吐などで発病し、引き続き急激に、光への過敏症、意識障害(意識がなくなること)、けいれん等の中枢神経系障害(脳の障害)を生じます。脳炎を発症した場合 20～40%が死亡に至る病気といわれています。

2 予防接種の効果と副反応について

予防接種により体内に免疫(中和抗体価 10 以上)ができると、日本脳炎にかかることを防ぐことができます。ただし、予防接種により軽い副反応がみられることがあります。予防接種後にみられる反応としては、乾燥細胞培養日本脳炎ワクチンの添付文書によると、本剤の臨床試験において、生後 6 月以上 90 月未満の小児 123 例中 49 例(39.8%)に副反応が認められ、その主なものは発熱(18.7%)、咳嗽(11.4%)、鼻漏(9.8%)、注射部位紅斑(8.9%)であり、副反応のほとんどは接種 3 日後までにみとめられています。また、極めて稀ですが、重い副反応として、アナフィラキシー症状(ショック症状、じんましん、呼吸困難など)があらわれることがあります。

3 対象者 小平市に住所を有する方で、

【第1期】 標準として3～4歳 (接種対象者は生後6か月から7歳6か月に至るまで)

※3歳の誕生日以降に接種することをお勧めします。

※生後7歳6か月を過ぎると公費負担を受けることができず、費用は自己負担となります。

★ただし、平成19年4月2日～平成21年10月1日生まれの方で7歳6か月に至るまでの間に第1期の3回接種を完了できなかった場合、不足回数分を第2期の対象年齢(9歳以上13歳未満)の間に接種できます。

①1回も接種していない場合 第1期初回:6～28日の間隔で2回接種 追加:初回接種終了後、6か月以上(標準1年)の間隔で1回接種

②1回以上接種している場合 6日以上の間隔において、第1期残りの回数を接種 ①、②から続けて第2期を受ける場合の接種間隔は6日以上

【第2期】 9歳以上13歳未満(13歳の誕生日の前日まで)の方

※平成7年4月2日～平成19年4月1日生まれの方は第1期、第2期ともに、20歳未満まで 定期予防接種として日本脳炎の予防接種ができます。

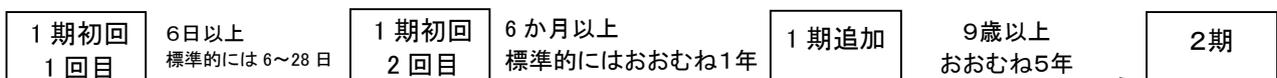
4 接種場所 別紙「小平市予防接種指定医療機関一覧表」のとおり

5 費用 無料 ※接種期間以外に接種する場合は任意接種となり有料です。

6 使用ワクチン 乾燥細胞培養日本脳炎ワクチン 1回 0.5mlを皮下接種 (3歳未満は0.25ml)

7 接種回数及び接種スケジュール

1期接種は、6日以上(標準的には28日まで)の間隔において2回接種し、その後6か月以上(標準的には1年)あけて1回接種します。2期接種は、9歳以上13歳未満で1回接種。1期接種の終了後、概ね5年の間隔において接種します。



8 医療機関に持参するもの

日本脳炎予防接種予診票、母子健康手帳

※「予防接種予診票」はお子さんの接種時の体調などを確認するために必要です。必ず接種前に必要事項を記

入して医療機関に提出してください。

9 次の方は接種を受けないでください

- ① 明らかに発熱している方。(通常37.5℃以上をいいます。)
- ② 重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな方。
- ③ 本剤の成分によってアナフィラキシーをおこしたことがある方。
- ④ その他、かかりつけの医師に予防接種を受けないほうがよいと言われた方。

10 次の方は接種前に医師にご相談ください

- ① 心臓血管系疾患、腎臓疾患、肝臓疾患、血液疾患、発育障害等の基礎疾患を有する方。
- ② 過去に予防接種で接種後2日以内に発熱のみられた方及び全身性発疹等のアレルギーを疑う症状のみられた方。
- ③ 過去にけいれん(ひきつけ)をおこしたことがある方。
- ④ 過去に免疫不全の診断がなされている方及び近親者に先天性免疫不全症の者がいる方。
- ⑤ 本剤の成分に対してアレルギーをおこすおそれのある方。

11 接種前の注意

- ① この説明書をよく読み、予防接種の必要性や副反応について、理解したうえで接種してください。
わからないことは、接種を受ける前に医師に質問してください。
- ② 接種前日は入浴(又はシャワー)をし、体を清潔にしましょう。
- ③ 予防接種は、体調の良い日に受けてください。
- ④ 接種は保護者同伴で接種しましょう。
- ⑤ 予診票は医師の大切な情報源になりますので、正確に記入してください。

12 接種後の注意

- ① 接種後30分間は安静を保ち、様子を観察するようにしましょう。
- ② 接種後生ワクチンでは2～3週間、不活化ワクチンでは24時間は副反応が現れる場合があります。お子さんの状態をよく観察し、高熱、おう吐、けいれん等の異常な症状が生じた場合には、速やかに医師の診察を受けてください。その場合は、小平市健康推進課に連絡してください。
- ③ 接種後は、接種部位を軽くおさえ、揉まないようにしてください。
- ④ 接種当日は、入浴をしても差し支えありませんが、注射部位をこすなどしないようにしましょう。また、いつも通りの生活をし、接種当日は、はげしい運動は避けてください。

13 予防接種健康被害救済制度

予防接種により、万一、健康被害が生じた場合、その健康被害が予防接種によるものであると認定された場合には、予防接種法に基づく予防接種健康被害救済制度が適用されます。

<予防接種の間隔>

- (1) 乾燥弱毒生麻しん風しん混合ワクチン、乾燥弱毒生麻しんワクチン、乾燥弱毒生風しんワクチン、経皮接種用乾燥BCGワクチン又は乾燥弱毒生水痘ワクチンを接種した日から、乾燥弱毒生麻しん風しん混合ワクチン、乾燥弱毒生麻しんワクチン、乾燥弱毒生風しんワクチン、経皮接種用乾燥BCGワクチン又は乾燥弱毒生水痘ワクチンの予防接種(同一種類のワクチンを接種する場合において、接種の間隔に関する定めがある場合は、その定めるところによる。)を行うまでの間隔は、27日以上おくこと。
- (2) 2種類以上の予防接種を同時に同一の接種対象者に対して行う同時接種(混合ワクチンを使用する場合を除く。)は、医師が特に必要と認めた場合に行うことができる。

【問合せ】小平市健康推進課 〒187-0043 小平市学園東町1-19-12 (小平市健康センター内)

電話:042-346-3700 FAX:042-346-3705